

KUMANICHI

THE KUMAMOTO DAILY NEWS
MEDIA GUIDE

熊本日日新聞メディアガイド



KUMANICHI

熊本の「今」を動かし「未来」を開く

熊本日日新聞社は1942年の創立以来、熊本のジャーナリズムを担い、県民とともに歩んで参りました。

その中核となる朝刊は、県内No.1の圧倒的シェアを誇ります。

地域に深く根差した独自の取材ネットワーク（熊本県内外に24の支社・総支局）と、

確かなジャーナリズムに裏打ちされた質の高い情報で、

熊本の「今」を動かし、「未来」を開くメディアとして、県民の皆さまから厚い信頼を得ています。

また、県内全域を網羅する114の販売センターが、情報を確実に読者の手元へお届けしています。

朝刊

朝刊販売部数

201,099部

県内占有率

75.7%

※日本ABC協会2025年1月部数、
「月別府県2025年1月」

情報紙

熊本都市圏に31万部

くまもと生活応援紙

SPICE

くまにち すばいす

九州・熊本の情報を
台湾の皆さまへ

Formosa九州
熊本

デジタル

速報性と深掘り

熊日電子版

幅広い世代とつながる

公式SNS

精緻なターゲティング

デジタル広告

屋外広告

熊本市上通入口で
圧倒的な存在感

くまにちビジョン



新聞を核とした信頼のブランド力と、紙からデジタル、屋外広告までを網羅したメディアラインアップ。

熊本日日新聞社は、これらを最適に組み合わせることで、

皆様の課題解決に貢献する最適なコミュニケーション戦略を提案します。

1. 県内全域にリーチする熊本日日新聞
2. 熊本日日新聞 読者プロフィール
3. 熊日電子版 ID会員プロフィール
4. 新聞×ネットで相乗効果を出したい
5. 熊本でビジネスを推進したい
6. 大切な企業メッセージを届けたい
7. 地域に貢献したい
8. リアルイベントに集客したい
9. 子どもたちの学びに貢献したい
10. 子育て層にアプローチしたい
11. シニアにアプローチしたい
12. タイミング良く情報発信したい
13. 台湾人居住者・観光客にアプローチしたい
14. 「文化・スポーツ・人」を育み、未来を創る
15. さまざまな課題にグループ力で対応
16. 熊本県の姿

1. 県内全域にリーチする熊本日日新聞

■販売部数

201,099部

※日本ABC協会2025年1月部数

■占有率

75.7%

熊本県内で1日に発行される日刊紙の部数は265,531部。熊日は、そのうち約75%のシェアを誇ります。

※日本ABC協会「2025年1月新聞月別府県より」より算出

■県内推定総読者数

約**462,527**人

1部あたり

2.3人

が読んでいます



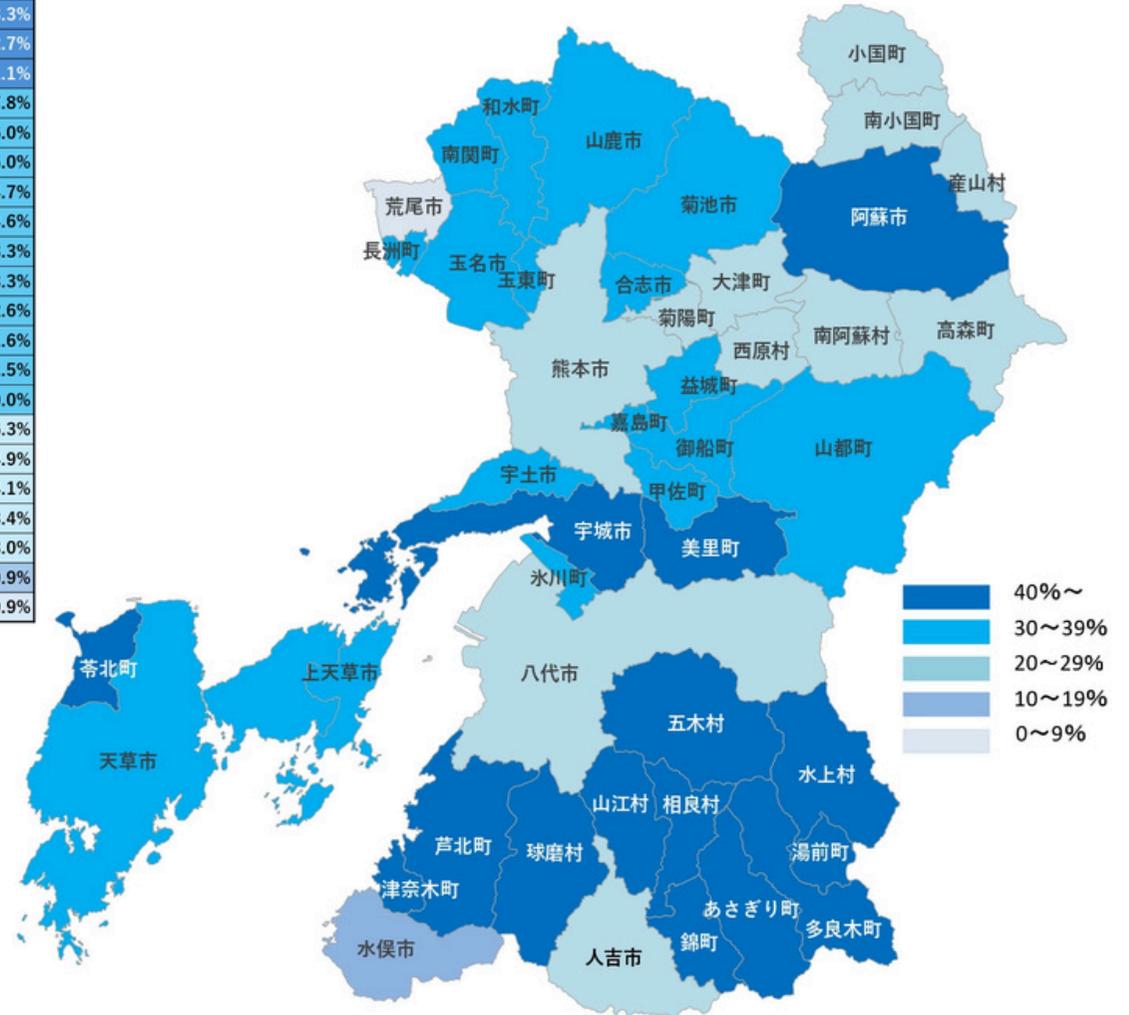
朝刊発行部数201,099部×2.3人=462,527人

※全国メディアプロフィールサーベイ2024（全国MPS協議会）より

市町村名	世帯数(戸)	熊日部数(部)	熊日世帯普及率
熊本県	743,299	202,372	27.2%
芦北郡	7,307	3,384	46.3%
天草郡	2,635	1,154	43.8%
阿蘇市	10,254	4,439	43.3%
宇城市	22,158	9,472	42.7%
下益城郡	3,319	1,364	41.1%
菊池市	18,584	7,018	37.8%
玉名郡	15,246	5,492	36.0%
上天草市	9,609	3,363	35.0%
八代郡	3,909	1,357	34.7%
合志市	23,932	8,277	34.6%
山鹿市	19,181	6,393	33.3%
宇土市	14,155	4,712	33.3%
天草市	31,050	10,133	32.6%
上益城郡	31,913	10,087	31.6%
玉名市	25,792	8,122	31.5%
球磨郡	18,119	5,432	30.0%
八代市	50,496	13,270	26.3%
阿蘇郡	14,672	3,656	24.9%
人吉市	13,202	3,176	24.1%
熊本市	342,575	80,089	23.4%
菊池郡	34,941	8,019	23.0%
水俣市	9,601	1,914	19.9%
荒尾市	20,649	2,049	9.9%

■世帯普及率

熊日の世帯普及率は、全県内で約3割。全県をまんべんなくカバーしています。芦北郡、天草郡、阿蘇市、宇城市、下益城郡では4割を超えています。

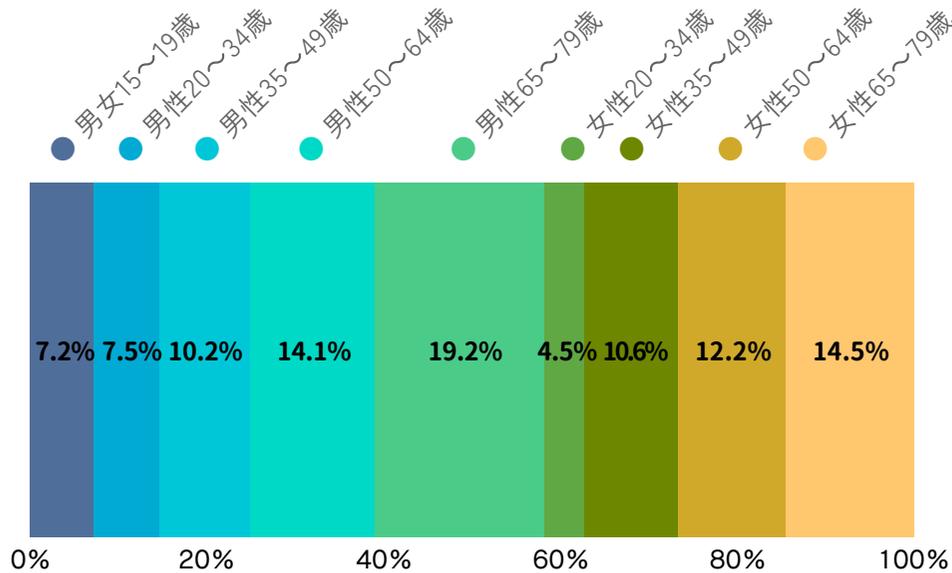


※日本ABC協会「2024年10月市郡別部数表」、熊本県統計調査課「熊本県の人口及び世帯数（月報）2024年10月」より算出

2. 熊本日日新聞 読者プロフィール①

熊日の読者は、20代から70代までの幅広い世代が、男女ほぼ均等にバランスよく分布しています。経済的安定性と家庭基盤を持つ働き盛りの世代が中核を占めており、新しい情報や体験に積極的。豊かなライフスタイルを求めて、住宅・自動車・教育・レジャーなど多方面での消費が期待できます。回読率は2.3人。家族間での話題共有により、各年代層への口コミ効果も見込めます。

性別/年代別

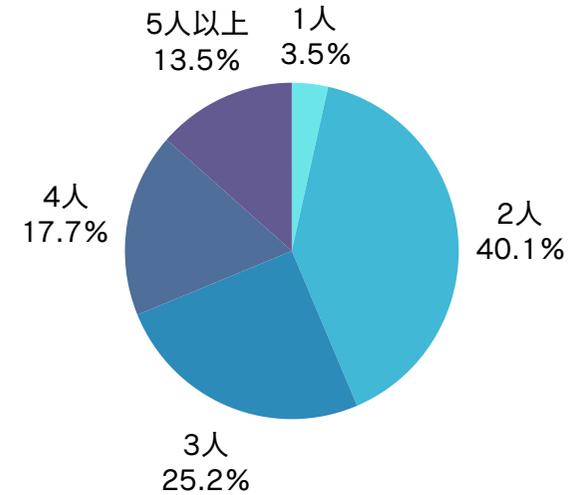


回読率

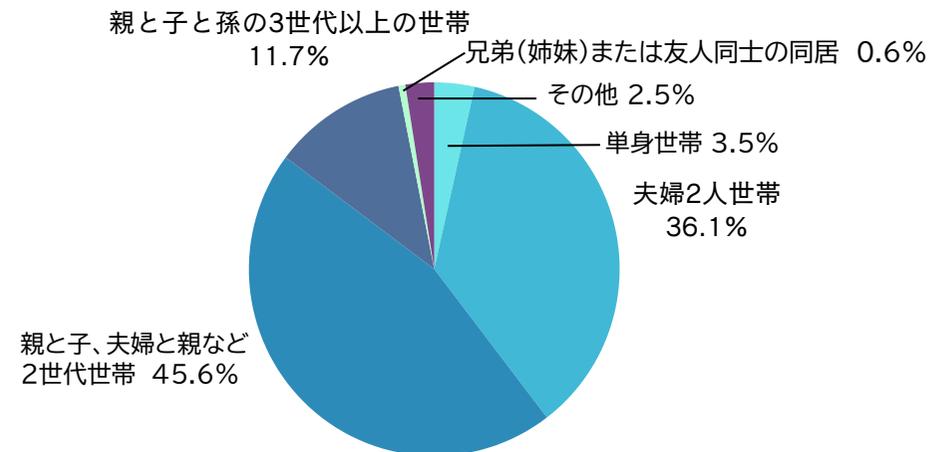
1部あたり
2.3人が読んでいます



家族人数

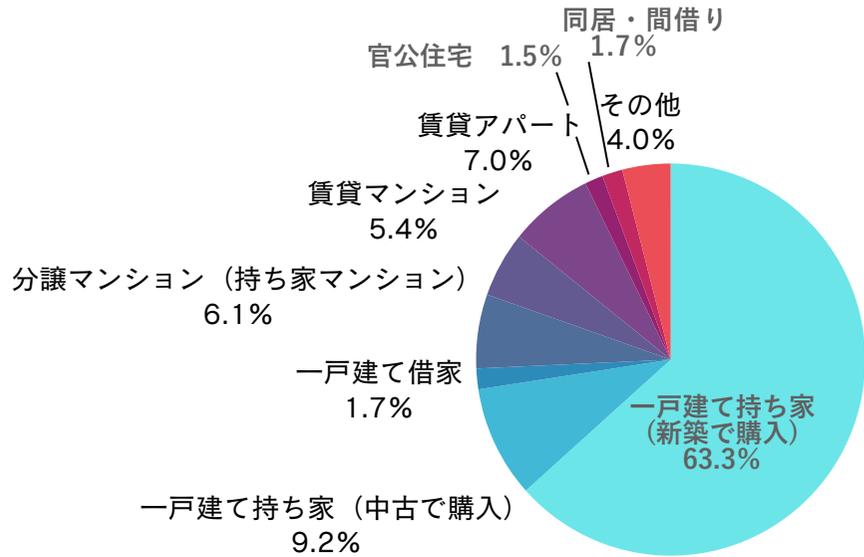


家族構成

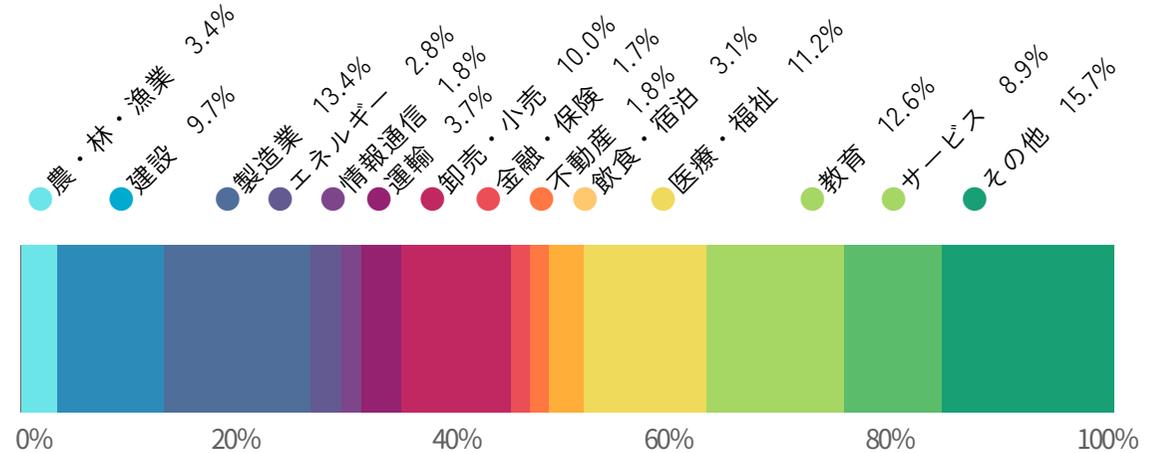


2. 熊本日日新聞 読者プロフィール②

住居形態



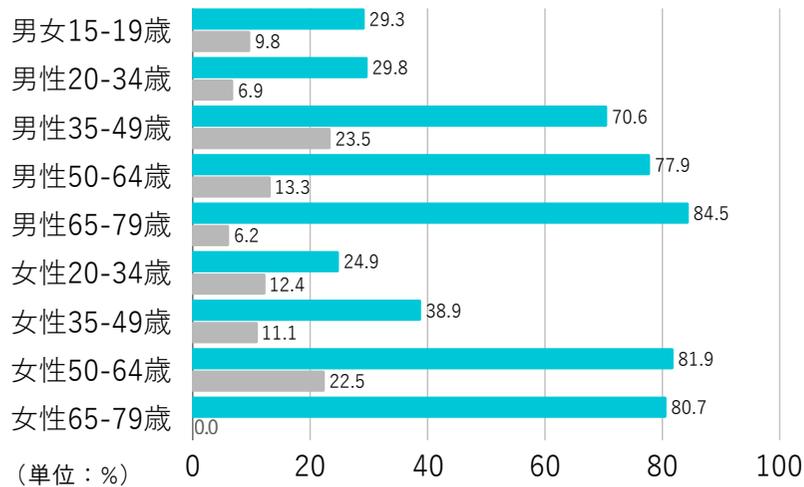
職業



新聞の読み方

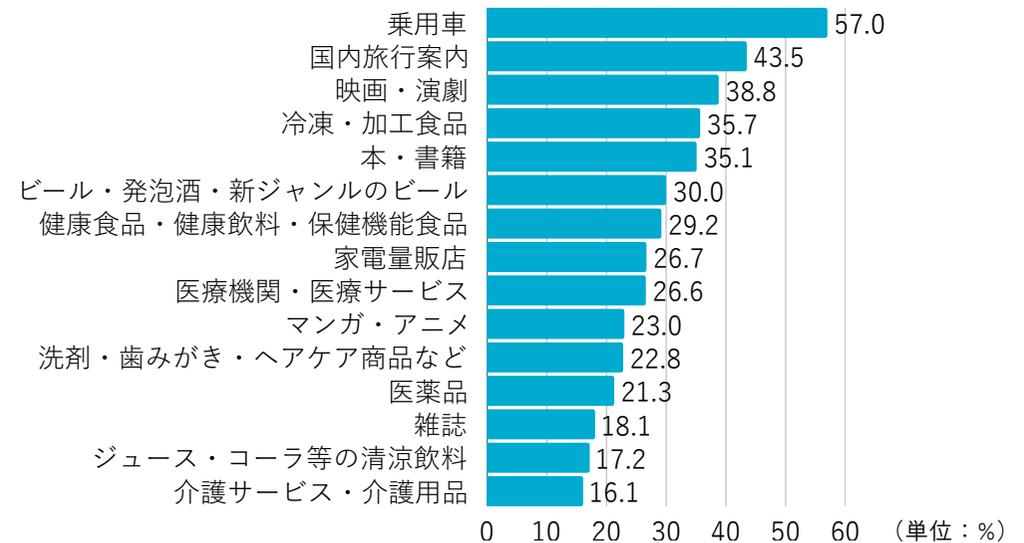
■ 本紙・朝刊
■ Webサイト (アプリ含む)

※「メディア接触頻度」より「ほぼ毎日接触している」を抽出



関心のある商品広告

※上位15項目



※全国メディアプロフィールサーベイ2024 (全国MPS協議会) より (n=598)

3. 熊日電子版 ID会員プロフィール

熊日電子版
<https://kumanichi.com/>



熊日電子版ID会員
161,806人
 ※2025年12月26日現在

熊日電子版のID会員は、16万人を超えています。30代～50代の現役世代の会員が約5割。ビジネス、住宅、教育、レジャーなど、あらゆる分野で消費意欲の高い層に効率的にリーチが可能です。会員約16万人を対象にしたアンケートや、単独の広告メール配信などデジタルメディアを活用した広告・情報発信サービスを展開しています。



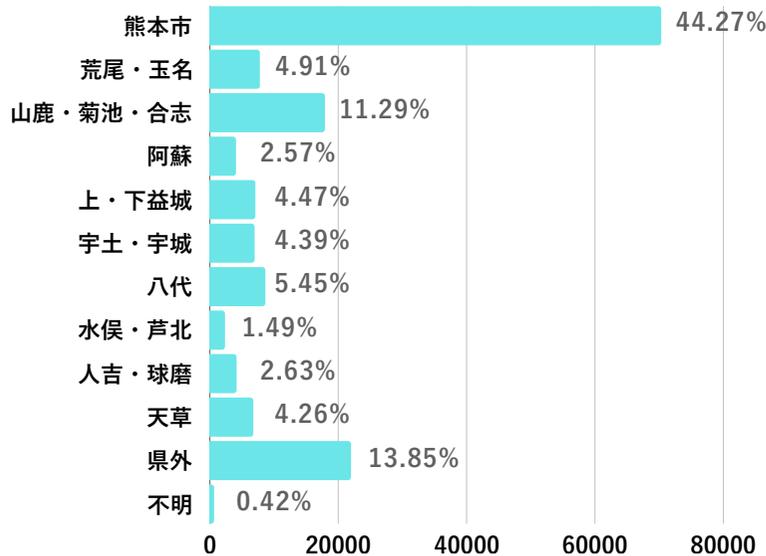
熊日電子版
 広告詳細はこちら

年間総ページビュー数

31,070,666 PV

2024年1-12月

地域別



熊日電子版 バナー広告

トップページにバナーを掲出

エディトリアル広告

朝刊に掲載した記事体広告を「熊日電子版」(PRページ)に掲載

ニュースレター広告

会員にニュースを伝えるメールマガジン内に広告掲載

インフォメール広告

会員に単独の広告メールを配信。居住地、年代、性別で絞り込み可能

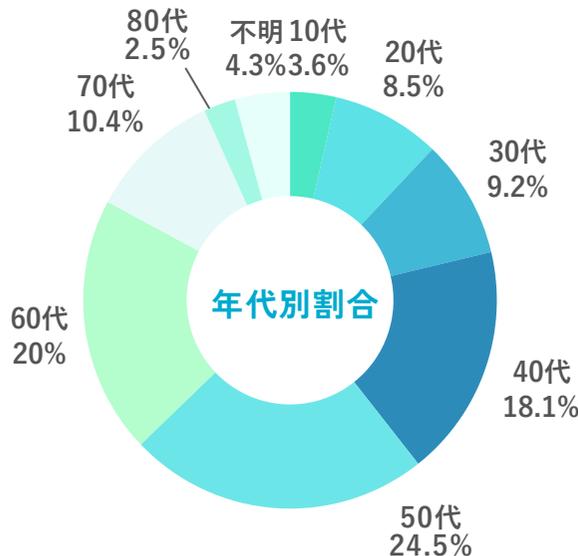
熊日IDリサーチ

会員対象にアンケートを実施

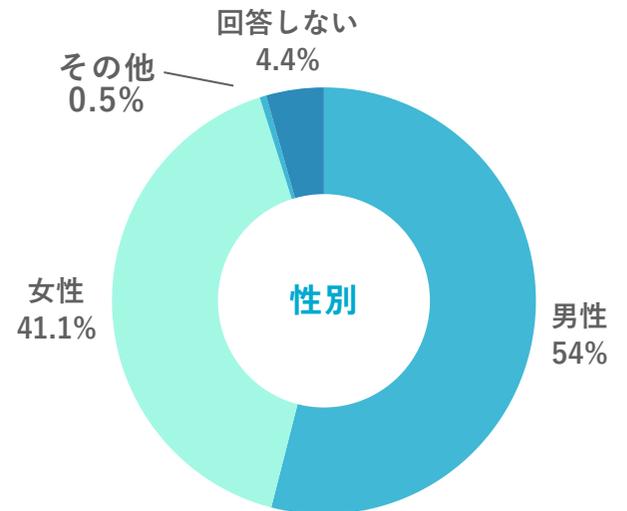
朝刊+インフォメール

朝刊への広告出稿とインフォメール広告をセットで

年代別割合



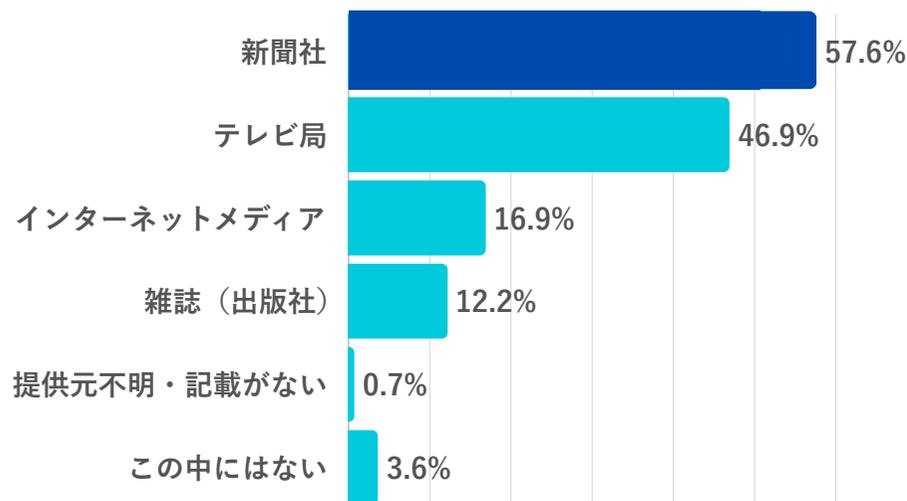
性別



4.新聞×ネットで相乗効果を出したい①

熊本県内で圧倒的な信頼とリーチを誇る熊本日日新聞の「紙面」と、県内最大級のPV数を誇る「熊日電子版」や公式各種SNSを組み合わせることで、メッセージの価値を最大化します。認知拡大から理解促進、信頼獲得、そして行動喚起まで、一気通貫でのコミュニケーション設計をご提案します。

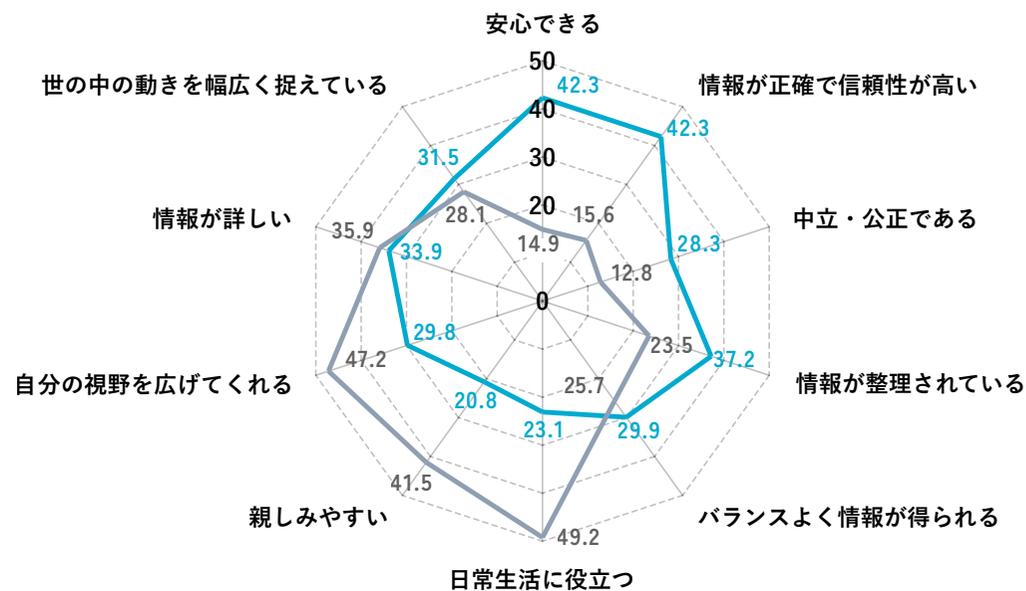
■情報の提供元として信用できるもの (n=450/単位：%)



補完性のある新聞とネット

メディアの印象・評価で重視する項目と実際の評価から新聞とネットの関係をみると、生活者がメディアに対し最も重視する「情報が正確で信頼性が高い」や「安心できる」「中立・公正である」「情報が整理されている」といった項目で新聞はネットより高いスコアとなりました。これに対しネットは「日常生活に役立つ」「自分の視野を広げてくれる」「親しみやすい」といった項目で新聞よりスコアが高く、新聞とネットはそれぞれの特長を補完し合う関係にあることがうかがえます。

■新聞とネットの評価 ●新聞 ●ネット (n=1200/単位：%)



4.新聞×ネットで相乗効果を出したい②

Case

新聞広告を起点にデジタル展開



2024年8月22日朝刊

「ミュージカルALICE」（2024年12月14日／熊日主催）の電子チケット販売を、熊日電子版会員の先行販売と一般販売の2段階で実施しました。

まず新聞広告で告知し、二次元コードで熊日電子版特設ページに誘導。先行販売だけで販売席数の約7割を売り上げるという好調なスタートを切り、公式SNSも連動させたクロスメディア戦略の展開で、発売から約1ヶ月で全席を完売しました。

特設ページへのアクセスから電子チケットの購入までをデジタルで完結させることで、ユーザーの購入意欲を削ぐことなく、スムーズな購買体験を提供しました。また、特設ページは1万回以上閲覧され、高い関心を集めました。

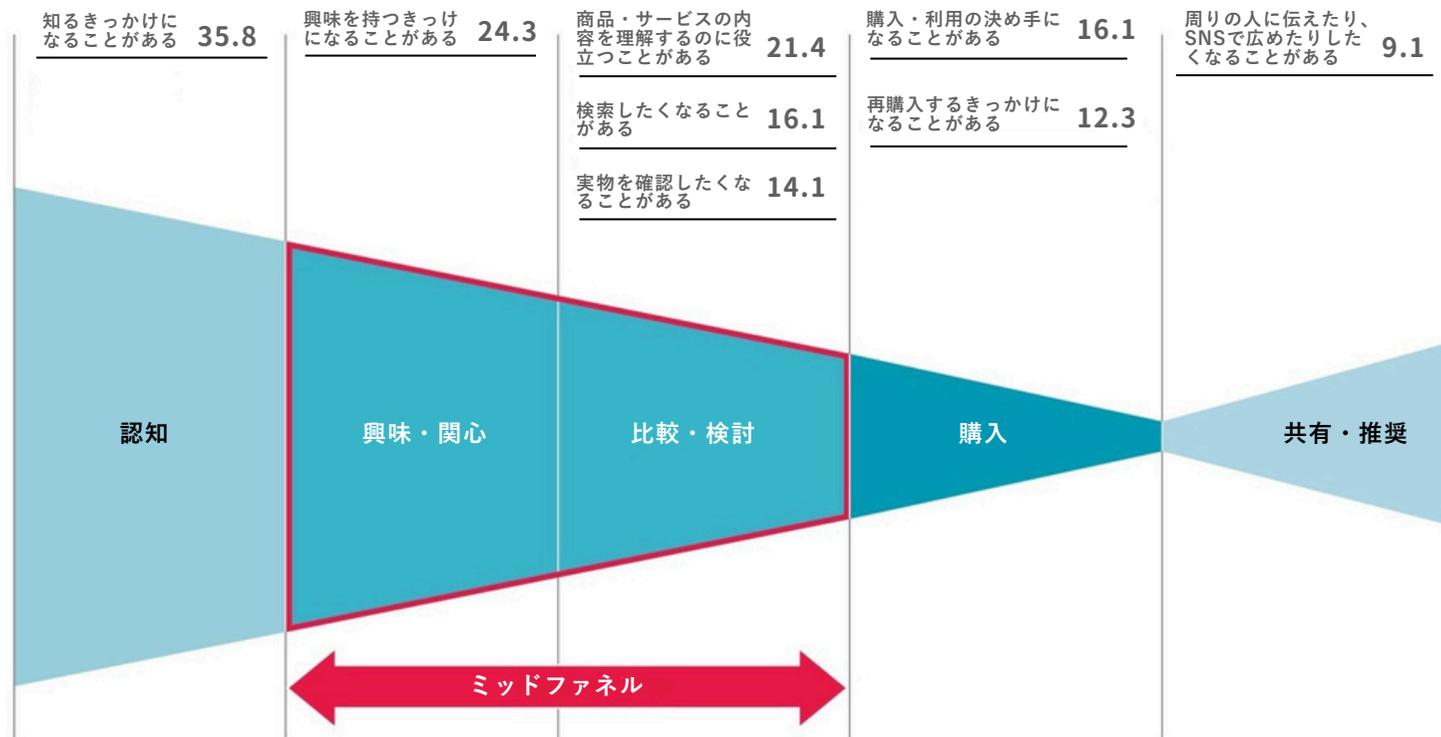


購入・利用を後押しする新聞広告

新聞に週1日以上接触している人の購買プロセスにおいて、新聞広告は商品・サービスを知るきっかけとなる「認知」だけでなく、興味を持つきっかけとなったり、欲しい気持ちが高まる「興味・関心」、商品等の内容理解や実物を確認したくなるといった「比較・検討」というミッドファネルにおいても重要な役割を果たしています。

■購買ファネルで見た新聞広告の役割

週1日以上新聞接触者 (n=651 / 単位: %)



日本新聞協会広告委員会「多メディア時代における新聞の役割とメディア接触者の動向調査」

5. 熊本でビジネスを推進したい

台湾積体回路製造（TSMC）の半導体工場が本格稼働し、熊本県の経済は歴史的な転機を迎えています。ビジネスチャンスをつかむためには、質の高い「情報」と、事業を加速させる「人脈」が不可欠です。熊本日日新聞社は、地域に根差したメディアグループとして、熊本でのビジネス展開をサポートします。

Case

企業情報を県内外に広く発信 熊日プレジデント倶楽部

熊日プレジデント倶楽部は、熊本の未来を担う企業・団体を広くご紹介し、リーダーの皆様と交流を深めていただく会で、発足から30年。現在ご参加の企業・団体は130に上ります。



「熊日プレジデント倶楽部」
特設ページ



2025年1月1日「熊日プレジデント倶楽部」特集

■企業の信頼性・認知度向上（Branding）

会員であること自体が企業の信頼性向上に繋がります。また、新聞の特集紙面や熊日電子版内特設ウェブサイトでの企業紹介などを通じ、PRの機会や人材確保を視野にしたブランディングとしてもご活用いただけます。

■質の高い人脈形成（Network）

通常では接点を持ちにくい異業種の経営者や、行政・経済団体のキーパーソンとの交流が可能です。



2025年5月春の交流会会場
（講師：信州大学特任教授・山口真由氏）

■最新の知見と情報の入手（Information）

経済、経営、国際情勢、リーダーシップ論など、時代を読み解く最先端のテーマで講演会を開催。自社の経営課題解決のヒントが得られます。

変貌する熊本 多面的に報道



TSMCの進出の影響は多岐にわたり、多面的に捉える視点が欠かせません。日々のニュースや連載を通じ、大きく変貌する熊本の「今」を、つぶさに報じています。

企業・自治体で記事共有 「熊日クリッピングサービス」

熊本日日新聞や熊日電子版をご購読の企業・団体向けに、職場内で記事をコピー、共有できる「熊日クリッピングサービス」をご案内しています。料金は組織の規模や人数に応じて設定しています。



熊日クリッピング
サービス詳細

こんな課題にお役立てください

- 記事を社員間でコピー・配布したい
- 記事をデータ化してメールで共有したい
- 引継ぎや情報共有を効率的にやりたい
- 著作権侵害のリスクは避けたいが、記事は活用したい

6. 大切な企業メッセージを届けたい

企業の周年、新社屋の落成、新会社の設立といった歴史的な節目は、これまでの感謝と未来へのビジョンを社会に発信する絶好の機会です。こうした企業の根幹に関わる重要なメッセージは、信頼性の高いメディアで発信してこそ、その価値が社会に広く、深く浸透します。

熊本日日新聞は、企業の「想い」を確かな形で生活者や取引先、地域社会に届け、強固な企業ブランディングの構築に貢献します。

Case

肥後銀行創立100周年記念特集



2025年7月25日 熊本日日新聞朝刊

企業ブランディングを採用活動に繋げる

■熊本企業インサイト

求人情報だけでは伝わらない、働く社員の声、企業文化などを丁寧に描きます。求職者が本当に知りたい情報をストーリーとして伝えることで、理念に共感する人材との出会いを創出します。

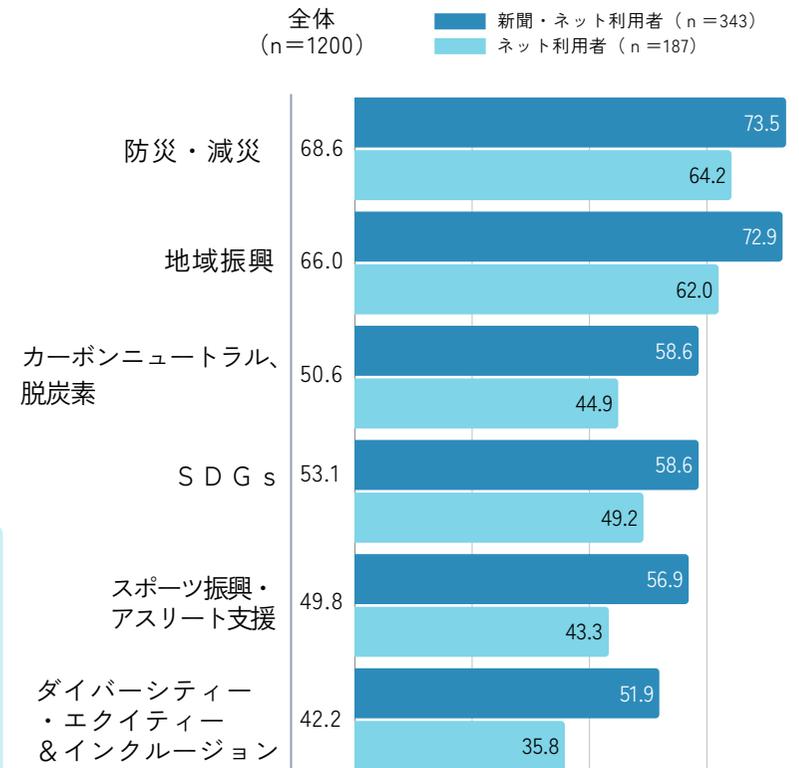


■熊日×HRハッカー

HRハッカーで求人情報を作成・公開後、最大8つの求人検索エンジンに拡散され、熊日電子版にも企業情報と求人へのリンクが掲載されます。

「くまにちすばいす」求人欄への掲載や、熊日電子版へのインタビュー記事掲載などのオプションも。

■商品・サービスを選ぶ際に参考となる企業姿勢 (単位：%)



日本新聞協会広告委員会「多メディア時代における新聞の役割とメディア接触者の動向調査」

7. 地域に貢献したい

企業の社会的責任（CSR）や存在意義が問われる今、「地域への貢献」は企業価値を測る重要な指標となっています。しかし、その想いを効果的に社会へ伝え、共感を得ることは容易ではありません。

熊本日日新聞社は、長年にわたり熊本の発展に寄与する様々なプロジェクトを展開しています。これらの活動にご協賛いただくことは、貴社の地域貢献への真摯な想いを最も信頼性の高い形で県民に届け、企業ブランドを大きく向上させます。

Case

■熊本城復興支援キャンペーン



2025年7月29日 熊本日日新聞朝刊

2019年スタート。毎月1回、特集紙面と熊日電子版で熊本城の今を伝えています。子どもの公募絵画でのカレンダー制作や、フォトコンテストなども実施。

※2019年日本新聞協会新聞広告賞受賞



■SDGsアクションプロジェクト



2025年7月17日 熊本日日新聞朝刊

2021年～2025年実施。特集紙面と熊日電子版で、SDGs推進を支える取り組みや、SDGsに関するノウハウを共有することでの人材の育成につなげます。



■国際女性デー特集



2025年3月8日 熊本日日新聞朝刊

3月8日の「国際女性デー」に合わせた特集を毎年掲載。人気漫画家・ウオズミアミさんのイラストを起用した2025年の紙面はSNSでも大いに話題になりました。

※2025年熊日広告賞受賞

熊本城の復興工事の状況は企業広告も含めて役立ちます。

（熊本市・60代男性）

熊本城復興に関する紙面は印象に残る。まだ長い道のりですが、宇土櫓も今改修中で完成するのが楽しみです。その時は、新聞で特集をお願いしたいです。

（熊本市・70代男性）

国際女性デー特集が、とても印象的で心に残り、国際女性デーについて調べました。ミモザの花と黄色がシンボルになっていることも知りました。

（熊本市・60代男性）

8.リアルイベントに集客したい

イベント成功の最大の鍵は「集客」。どんなに魅力的な企画も、ターゲット層に的確に情報が届かなければ、賑わいを創出することはできません。

熊本日日新聞グループは、圧倒的なリーチを誇る新聞から、特定の層に響く情報紙、速報性・拡散力に優れた熊日電子版・公式SNS、熊本市上通町の「くまにちビジョン」まで、多彩な告知手段を最適に組み合わせることで、イベントを成功へと導きます。

熊日電子版
「おでかけ情報」
154万PV

2024年10/19～
2025年10/19

熊日読者と熊日電子版会員は、地域のリアルなイベント情報に高い関心を寄せています。そのニーズに応えるメディアパワーが、集客を強力に後押しします。



「おでかけ情報」
熊日電子版
トップページ



地域イベント情報、スポーツ情報の記事はチェックしている。
(熊本市・60代男性)



熊日電子版は、休日のドライブの時は参考にしています。外出先でも見るようにしています。イベントなど役に立ちました。
(熊本市・60代女性)



セミナーやイベントの広告は見ます。最近では佐野元春コンサートを知って申し込みました。
(熊本市・50代男性)



子育てイベントのお知らせが参考になります。
(熊本市・30代女性)

2025年10月「熊日電子版プレミアム会員アンケート」より

Case

多彩な主催・共催イベントでの集客実績

主催イベントにおいても、メディアミックス戦略を駆使し、多くの集客を実現しています。



■すばいす 手作りフェア

2025年1月18日～19日（グランメッセ熊本） 約6,000人

■すばいす感謝祭

2025年3月22日～23日（同）18,000人

■すばいす カントリー&クラフトフェア

2025年4月4日～6日（同）6,500人

■くまもとクラフトウィーク

2025年9月4日～7日（同）16,000人

■熊本リレーマラソン

2025年11月3日（県民運動公園）出場約3,500人



9.子どもたちの学びに貢献したい

子どもたちの成長は、熊本の未来そのものです。子どもたちの知的好奇心を刺激し学びを後押しする紙面展開で、子どもたちの成長段階に合わせて、最適な「学びの機会」を提供しています。

【基礎学力・思考力を育む】

小中学生新聞 くまTOMO / くまTOMO電子版

ルビ付き!

動物の命の大切さを学んだ。くまTOMOの「ヤブデリーファーム」で、牛の乳搾りや食材の牛乳や肉について学びながら

いのち
あたたか
命の温か

毎週日曜日掲載。身近な課題から難しいニュースまで、子どもたちの目線で分かりやすく解説。社会への関心を広げ、すべての学力の基礎となる「読解力」や「思考力」を育みます。紙面作りに参加する「くまTOMOサポーター」を組織し、パートナー企業や地域と連携した体験型イベントも実施しています。



2025年10月19日付朝刊「くまTOMO」

Case



高校受験の最新ニュースは「くまの高校・塾 進学ナビ」

熊本県内の、高校受験に関する最新ニュースを掲載したガイドブック。多様化する高校、通信制高校・サポート校の情報や、進学塾を紹介しています。

- 発行部数 10,000部
- A4版 約130ページ
- 価格 770円(税込)
- 2025年6月発行

熊日読者限定 入試予想問題集「中3クラブ」

公立高校の入試問題と同様の形式の問題と、県内私立高校8校の前年度の入試問題を掲載しています。中3クラブ(A4判・40P)は年10回、また、中1・2年生向けには「中1・2クラブ」(タブロイド判・20P)を年1回お届けしています。

※熊日ご購入者限定



熊本日日新聞

10.子育て層にアプローチしたい

子育て世代は、家族のライフステージの変化に伴い、あらゆる分野で活発な消費活動を行う最重要ターゲット層。生活動線に合わせたきめ細かなアプローチが不可欠です。子育て世代、特に消費の決定権を握る女性に寄り添うメディアで、メッセージを効果的に届けます。

熊本市圏
フリーペーパー
発行部数No.1

31万部
配布

くまもと生活応援紙

SPICE

くまにち すばいす



2025年10月10日付すばいす

手から手へきちんと届ける

熊本市内の世帯カバー率は、他紙の追随を許さない約79%の地域NO.1フリーペーパーです。新聞社の高精度なデリバリー網を活用し、読者の手元まで確実にお届けします。

狙った顧客層に伝わる

紙媒体は幅広い世代に、WEBは特に20~40代の女性に読まれる傾向があります。専門ライターが紙面・WEB向けに書き分け、質の高い記事で魅力を伝えます。

地域密着型の情報を提供

地域のイベント情報や、くらしの情報を網羅。巻頭特集や人気の連載コンテンツを紙面にちりばめており、読者に隅から隅まで読んでいただいています。

リアルイベントが強い

発刊30年の圧倒的な知名度。読者との結びつきも強くイベント集客も得意です。「手づくりフェア」「感謝祭」などリアルイベントは、3世代（特に子育て世代）の来場者率が高いのも特長。

WEBも充実

熊本のグルメやスイーツ、お出かけ情報を紹介。各種SNSで読者にダイレクトに通知します。コンテンツは外部ニュースアプリにも配信中です。



キャラット2025年12月号



県内の幼稚園・保育園を通じて、子育て真っ最中のご家庭に届くフリーペーパー。季節に合わせた特集やお出かけ情報など、子どもから大人まで楽しめて役に立つ情報を発信中。高い信頼性と確実なリーチが強みです。

- 発行部数 約60,000部
- 配布先 県内の幼稚園、保育園、子ども食堂など
- 発行日 5/12、7/14、11/10、2026年1/16、3/9
- タブロイド12P



すばいすWEB
年間PV数 441万
公式Instagram
フォロワー2.1万人



くまにちキャラット
WEBサイト内
ファンコミュニティ
メンバー1.2万人



11. シニアにアプローチしたい

熊本県では3.1人に1人が65歳以上。時間的・経済的にゆとりを持ち、アクティブな消費意欲を持つシニア層は、あらゆるビジネスにとって最重要ターゲットです。

一方で、自身の老後や親の介護など、多くのシニアとそこご家族は切実な悩みを抱え、信頼できる情報を求めています。シニアの「悩み」と「楽しみ」の両面に寄り添うアプローチで、メッセージを届けます。

※データは熊本県「高齢者関係資料集」2023年

Case

高齢者住宅選びの情報誌「くまにちすばいす 家族」

高齢者とその家族に役立つさまざまな情報と高齢者住宅・介護施設の最新情報、行政書士・司法書士など専門家のアドバイス、解説などを掲載しています。

専門家集団と連携

施設や相談、不動産などシニアライフの困りごとを、専任スタッフがサポートする「家族の窓口」。編集ページの協力・相談センターの運営にあたります。

熊日販売センターに設置

県内114カ所にある熊日販売センターに設置、無料配布。

立体的なプロモーション

くまにちすばいす、熊日朝刊、テレビCM、LaLaLaテレビジョン(駕町通り入口)CMでPRします。



- 年間2回発行 3月、9月
- 紙面体裁 A4版冊子フルカラー120ページ
- 発行部数 各約35,000部

豊かなシニアライフを応援



熊日金婚夫婦表彰

結婚50周年という、ご夫婦とご家族にとって最大の記念日を祝福する伝統事業。家族の歴史に寄り添い、県下45市町村で巡回表彰を行っています。毎年約3,000組、これまでに約18万組のご夫婦を表彰しています。



高齢者eスポーツ推進

高齢者の健康づくりや介護予防を目的に、eスポーツに取り組む自治体が増えています。指導者の質・数の確保等の課題解決を目的に、共同通信デジタル、日本高齢者eスポーツ学会と「高齢者eスポーツ指導者資格認定制度」を創設。これまでに延べ約200人が受講しています。

12. タイミング良く情報発信したい

新商品の発売日、セールを開始日、企業の創立記念日―。ビジネスには、「この日」に伝えたい特別なメッセージがあります。新聞は、毎日決まった時間に確実に読者の手元へ届けられる媒体です。この「計画性」と「到達性」こそ、タイミングが鍵となるプロモーションにおいて、他のどのメディアにもない強みを発揮します。

読者の気持ち動く「時」を捉えたコミュニケーションで、熊本日日新聞が最も効果的な情報発信を実現します。

Case

映像制作会社が熊日グループに

映像制作会社AREAが、熊日グループに加わりました。調印式報道の当日（11月28日）、朝刊に動画視聴の二次元コード付きの広告を掲載し、動画コンテンツの開発や企業プロモーション事業の強化をアピールしました。



2025年11月28日 熊本日日新聞朝刊

Case

高まる社会的関心に応える「災害特集」



2025年6月15日熊本日日新聞朝刊



2025年9月27日 熊本日日新聞朝刊

熊本地震、そして頻発・激甚化する自然災害の影響で、県民の防災意識は高まっています。梅雨や台風シーズン前は、定期的に「防災特集」を掲載していますが、2025年は、8月の記録的大雨の被害を受け、急遽、生活復旧に関する特集を企画。協賛企業の社会貢献への真摯な姿勢を示し、信頼性やブランドイメージの向上につなげました。

13. 台湾人居住者・観光客にアプローチしたい

半導体受託製造世界最大手・TSMCの本格稼働に伴い、熊本と台湾の結びつきは、これまでにないほど強く、深くなっています。熊本県内に居住する台湾出身者やそのご家族、そして急増する観光客へのアプローチは、今やあらゆる業種にとって喫緊の経営課題です。

熊本日日新聞社は、地域に根差すメディアとしての役割に加え、新たなビジネスチャンス創出を目指し、グローバルな視点を取り入れた情報発信を強化しています。

在熊台湾人コミュニティとの架け橋「Formosa」

Case

熊本在住の台湾人と、熊本を訪れる台湾人観光客向けに2024年11月に創刊したフリーペーパー。オール中国語（繁体字）で、熊本のグルメやレジャー、イベントなどを発信してきました。2025年5月からは「Formosa九州・熊本」に衣替え。福岡や台湾でも好評配布中です。

台湾出身者にほぼ確実にリーチできる、熊本で唯一無二の媒体です。きめ細かな情報を発信することで、台湾人コミュニティと地域社会の架け橋となることを目指しています。

- 奇数月に30,000部発行
- タブloid判28ページ
- 配布場所

- 《熊本》商業施設、宿泊施設、交通拠点他
- 《福岡》宿泊施設、レンタカー会社
- 《台湾》熊本・福岡の企業の台北事務所、書店、百貨店、高雄市役所、花蓮市役所他



2025年9月号



2025年11月号

世界の知見を、熊本の未来へ

Case



2025年9月30日発行「熊本の未来」

熊本経済について考える別刷り特集「熊本の未来」。2023年からは「台湾に熱視線」をテーマに展開。世界に目を向け、熊本の未来にとって有益な情報を発信しています。

2025年は、台湾の初代デジタル担当大臣を2016年から2024年まで務めたオードリー・タン氏への独占インタビューが実現しました。

デジタル社会における熊本の可能性を深掘りしたこの特集は、紙面と熊日電子版で展開し、県内外のビジネスリーダーや次世代層から大きな反響を呼びました。

14. 「文化・スポーツ・人」を育み、未来を創る

熊本日日新聞社の使命は、ニュースを届けるだけではありません。私たちは、地域文化の振興、スポーツの発展、次代を担う人材の育成、そして地域の活性化を目的として、年間を通じて多彩な主催事業を展開しています。これらの事業は、県民の皆様感動や楽しみ、学びの機会を提供すると同時に、熊本の「賑わい」「誇り」「未来」を創る原動力。主催事業へのご協賛は、ニーズに合わせた様々な形でご参画いただけます。



【文化の振興】

心豊かな暮らしと感動を届ける

国内外の優れた芸術や文化に触れる機会を創出し、県民の心豊かな暮らしに貢献します。話題の美術展から、親子で楽しめるミュージカル、伝統文化まで、幅広いジャンルの文化事業を展開しています。

- 熊日書道展
- くまもとジュニアプログラミングアワード
- 熊日学生音楽コンクール
- 熊日フォトサークル
- 熊日俳句大会
- 熊日学童スケッチ展 ほか



【スポーツの発展】

健康増進と青少年の健全育成

県民の健康増進はもちろん、トップアスリートの育成や青少年の健全育成を目指し、各種競技大会から大規模なリレーマラソンまで、数多くのスポーツイベントを主催しています。

- 熊日学童オリンピック（学童五輪）
- 熊日ネクスポ
- 熊本ゴルフ選手権「熊日トーナメント」
- 都市対抗熊日駅伝
- 熊日旗学童軟式野球大会
- 熊本リレーマラソン ほか



【顕彰】

功績を称え、未来への意欲を育む

文化、スポーツ、社会貢献など、様々な分野で熊本の発展に尽くされた個人・団体の功績を称え、広く社会に伝えます。

- 熊日賞
- 熊日文学賞
- 熊日マンガ文化賞
- 熊日出版文化賞
- 熊日金婚夫婦表彰
- 熊日緑のリボン賞

15.さまざまな課題にグループ力に対応

デジタル化や価値観の多様化により、企業が抱える課題はますます複雑化しています。単一の手法だけでは、すべての課題を解決することはできません。

熊本日日新聞社は、新聞発行事業を中核としながら、広告、デジタル、イベント、クリエイティブなど、各分野に特化したプロフェッショナル集団を擁する「地域の課題解決グループ」です。貴社の課題に対し、グループの総合力を結集した立体的かつ最適なソリューションをワンストップでご提案します。

熊日広告社

新聞、タブロイド紙、テレビ、ラジオ、雑誌などのマスコミュニケーション媒体の取扱いをはじめ、WEB・SNS広告、各種セールスプロモーション、屋外広告物、イベントなどを駆使して生活者を動かすコミュニケーションを創出します。



熊日サービス開発 株式会社

カルチャー教室「ぶれっただ熊日」、書籍企画・編集・販売「熊日出版」、保険代理店業務、チケット販売「熊日プレイガイド」、イベント企画・運営「熊日事業センター」、各種印刷「熊日プリンテクス」の事業を展開しています。



熊日メディアコム

新聞販売事業、新聞折込広告、新聞を購読していない方にもリーチできるカスタマイズ自在のポスティング広告、メーカーや生産者と連携した物販、商品企画、営業代行などの事業を展開しています。



熊日物流販売

新聞販売業務、チラシの新聞・くまにちすばいすへの折り込み。様々な貨物を九州一円に輸送。新聞を教材とした学校での活動（NIE = Newspaper in Education）や企業での活用セミナー（NIB = Newspaper in Business）も行っています。



熊本市中心街のびぶれす熊日会館にある、新しい価値創造と情報発信の拠点「びぶれすイノベーションスタジオ」。ワーキングや会議、打ち合わせに。さまざまなプログラムを通じた学びや交流、ネットワーク構築にご活用ください。



ウェブサイト制作、映像制作・配信、ウェブプロモーションを行っています。



熊日会館 Kumanichi Kaikan

上通A地区再開発ビル「びぶれす熊日会館」における不動産賃貸や建物の維持管理・駐車場運営などを中心に、街づくりに携わっています。



2003年創業。熊本県内の各放送局のテレビ番組や企業CMなどを数多く手がけ、熊本県ではトップクラスの実績とノウハウを持っています。2025年11月、熊日グループに加わりました。



日本で最初にできた 新聞博物館

熊本日日新聞社の設立45周年事業として昭和62(1987)年10月1日に開館した日本最初の新聞博物館。新聞の歴史的遺産を収集・保存するとともに、時代を先取る情報文化センターを目指しています。

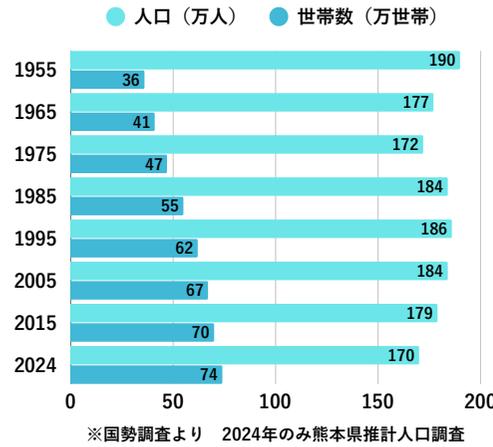


16. 熊本県の姿

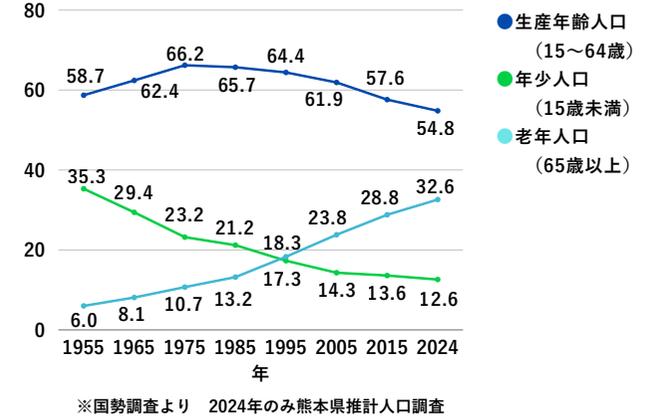
全国から見た熊本県

項目	単位	熊本県	順位	全国
面積	km ²	7,400.18	15	337,974.79
人口	千人	1,709	23	124,352
老年人口率	%	32.3	23	29.1
合計特殊出生率		1.47	5	1.20
高齢者就業率	%	25.8	17	24.7
女性就業比率	%	49.2	16	46.5
女性の管理職比率	%	17.6	7	15.7
基幹的農業従事者数 (人口10万人当たり)	人	2,981	6	1,081
農業算出額	億円	3,512	5	90,147
卸売業、小売業従事者数 (人口10万人当たり)	人	7,059	36	7,651
年間商品販売額	百万円	4,157,893	22	522,645,775
製造業従事者数 (人口10万人当たり)	人	5,522	32	6,234
製造品出荷額 (個人経営を除く事務所)	百万円	3,478,583	28	361,774,867
総実労働時間(1人平均月間)	時間	147.2	9	143.8
現金給与額(1人平均月額)	円	328,798	27	386,982
個人預金残高(1人当たり)	千円	3,123	39	4,586
持ち家比率	%	63.1	37	61.4
高等学校卒業者の大学進学率	%	50.4	38	61.9
病院数(人口10万人当たり)		11.8	7	6.5
平均寿命	男女	81.91 88.22	9 5	81.49 87.60

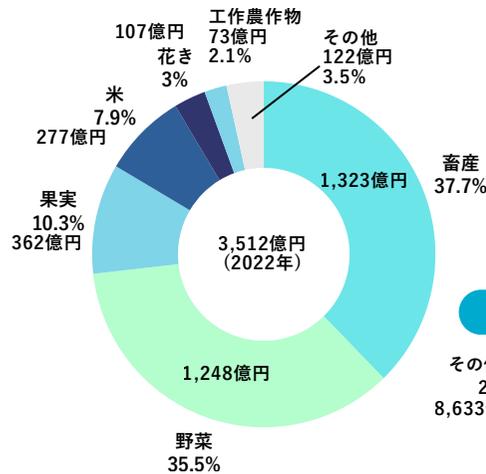
人口と世帯数



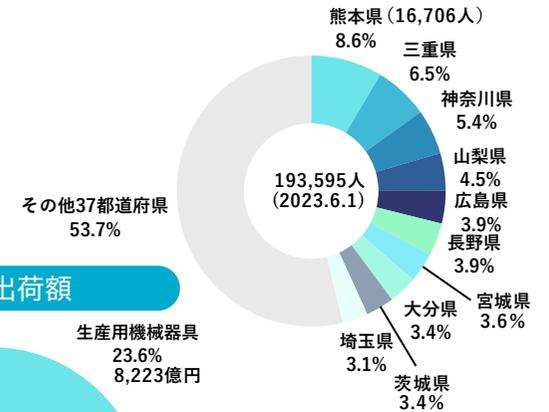
年齢区分別人口



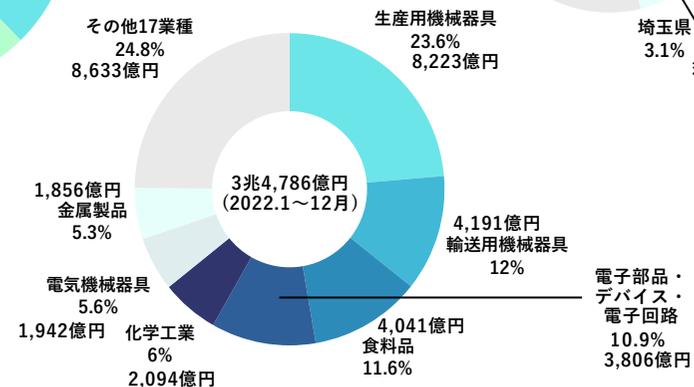
農業算出額



半導体関連製造業の従業員数の全国比



製造品出荷額



※熊本県「熊本のすがた2025」より

KUMANI CHI

THE KUMAMOTO DAILY NEWS MEDIA GUIDE

熊本日日新聞社

本社：〒860-8506	熊本市中央区世安1-5-1	TEL.096-361-3111
東京支社：〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル805	TEL.03-3212-2941
大阪支社：〒530-0001	大阪市北区梅田2丁目4番9号 ブリーゼタワー1階 SYNTH×Business-Airport	TEL.06-6131-6050
福岡支社：〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-19-22 九州フィナンシャルグループ福岡ビル5F	TEL.092-402-0159